

3

開き戸金物 設計・施工ガイド

CONTENTS

ペット用出入り口 ペットくぐ~る
654

上枠付け戸当り
655

ランマ金具
656

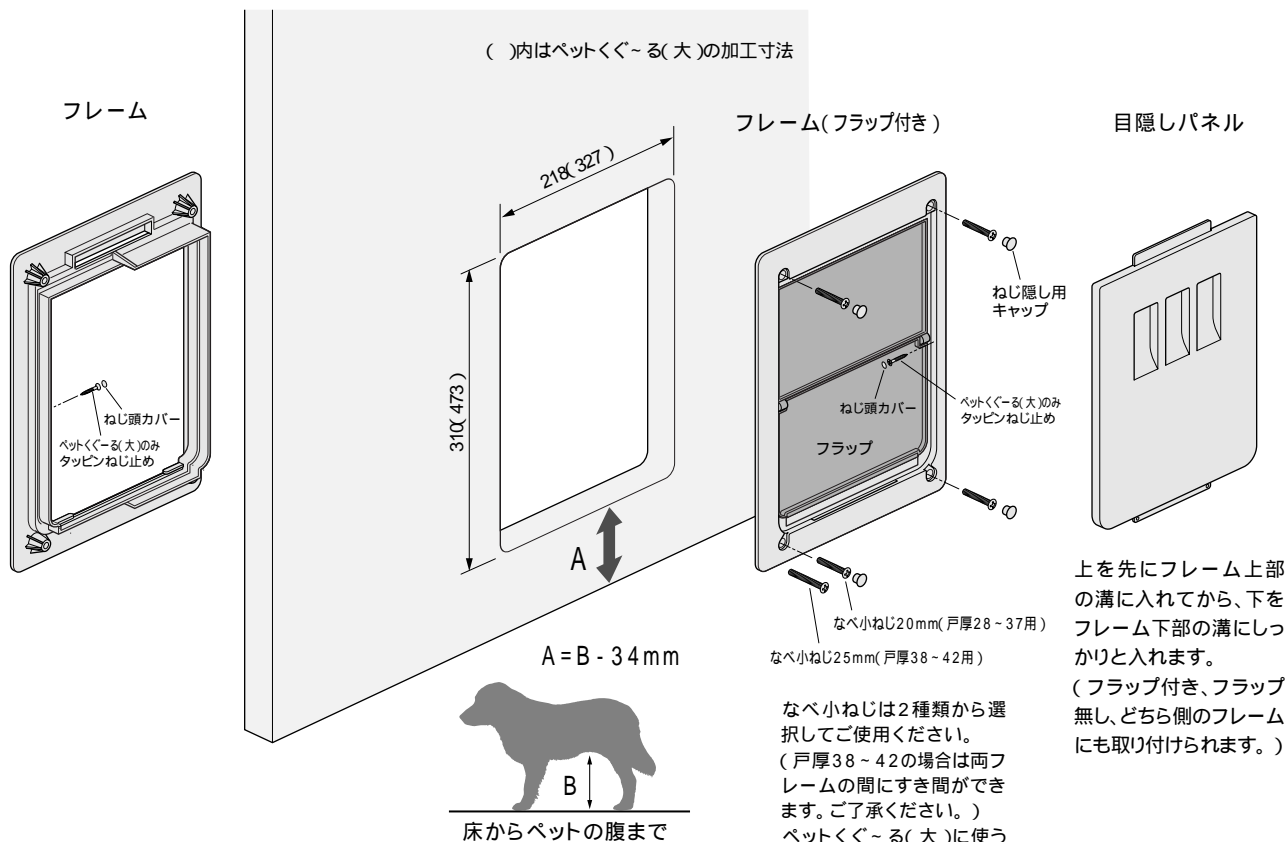
扉収納システムUHシステム金具
657 ~ 659

- ドア錠
- 1
- 丁番
- 2
- 開き戸金物
- 3
- 引戸錠
- 4
- 引戸金物
- 5
- 上吊式引戸金具
- 6
- 上吊式引戸金具OP
- 7
- 折戸金具
- 8
- 折戸金具OP
- 9
- 取手・引手
- 10
- スライド丁番
- 11
- スライドレール・ワイヤバケット
- 12
- 収納・吊金具
- 13
- その他の家具金物
- 14
- 消火器ボックス
- 15
- 手摺金具
- 16
- 諸金具・他
- 17

ペットくぐる

製品紹介 100 ~ 101

金具の取付け方法



- ① 戸の下部に「ペットくぐる」取付け用開口部を作ります。
- ② フレームを両側からはめ込み、ねじ止めした後、ねじ隠し用キャップ(ペットくぐる(大)の場合はねじ頭カバーも)を付けます。
- ③ フラップ部を塞いでしまいたい場合は、目隠しパネルを取り付けてください。

なべ小ねじは2種類から選択してご使用ください。
 (戸厚38~42の場合は両フレームの間にすき間ができます。ご了承ください。)
 ペットくぐる(大)に使うタッピンねじは、戸厚28~37の場合は上図のように各フレームに1本ずつ、戸厚38~42の場合は各フレームに2本ずつ(左右に取付け)になります。

上を先にフレーム上部の溝に入れてから、下をフレーム下部の溝にしっかりと入れます。
 (フラップ付き、フラップ無し、どちら側のフレームにも取り付けられます。)

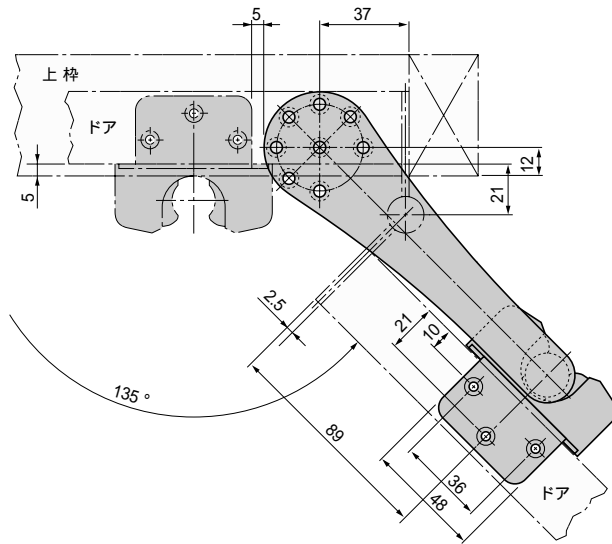
加工上のご注意

「ペットくぐる」を取り付けたい位置に芯材が無く、しっかりと取り付けられない場合には、芯材の替わりになる補強部材を、開口部周辺に補ってください。
 ねじの締めつけは、フラップが動くことを確認しながら行ってください。ねじを締めつけすぎると、フレームの変形によりフラップが動かなくなる恐れがあります。
 道具の取扱いには十分ご注意ください。
 加工作業は危険ですので、お子様には作業をさせないでください。

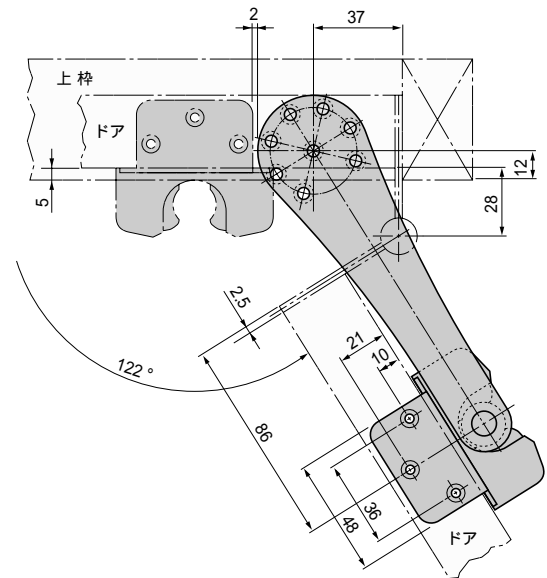
金具の納まり参考図

キャッチ付き上枠付け戸当り

(丁番サイズ 102×102、ドア開き角度135°止めの納まり参考図)

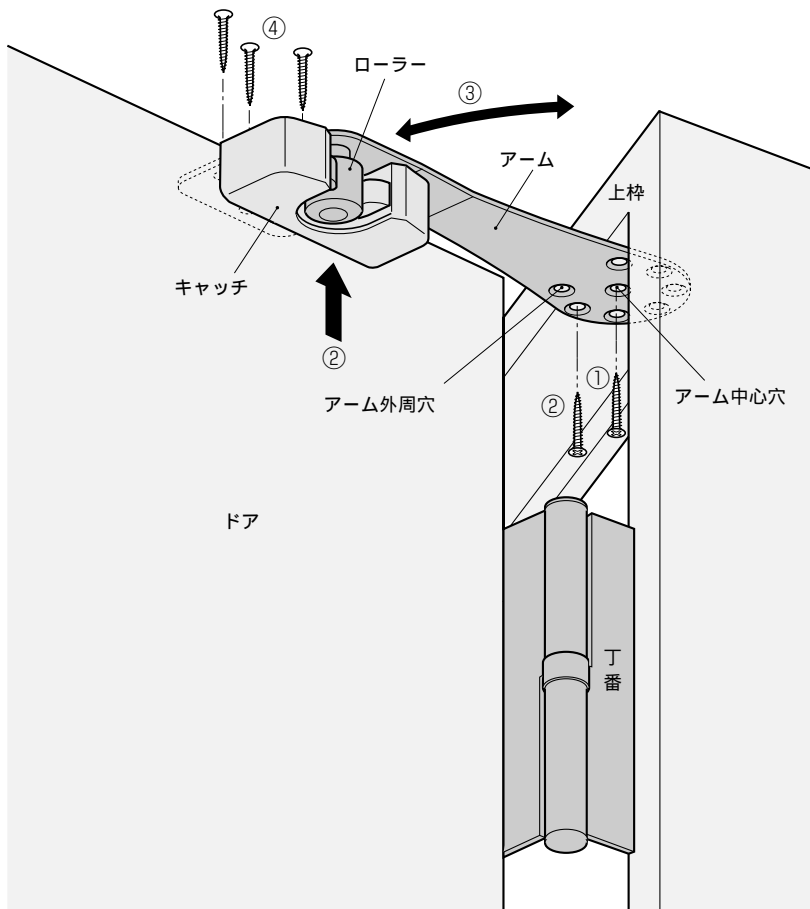


(丁番サイズ 116×102、ドア開き角度122°止めの納まり参考図)



金具の取付け方法

右記手順で取り付けたら、位置決めが簡単にできます。



キャッチ付き上枠付け戸当りの場合

- ① まずアーム中心穴にだけねじ止めをし、上枠にアームを仮止めします。
アームが左右に振れる程度の余裕を残して仮止めしてください。アーム中心穴の位置は上図「金具の納まり参考図」をご参照ください。
- ② ローラーにキャッチを下から差し込みます。
- ③ アームを左右に振り、ご使用状況に合わせて、ドアの開き角度を決めます。
- ④ 添付ねじで、ドア上辺にキャッチを取り付けます。
- ⑤ アーム外周穴に添付ねじを止めます。
戸当りは左右兼用となっているため、取付けに際してアーム外周穴が2ヶ捨て穴になってしまう場合がありますが、アーム中心穴を含め添付ねじ6本で止まっていれば、実用上の強度は十分です。
- ⑥ キャッチからローラーを外し、キャッチ正面の取付け穴に添付ねじを止めます。

キャッチ無し上枠付け戸当りの場合

上記 ① ③ ⑤ の手順で取り付けます。

金具の納まり参考図及び取付け方法

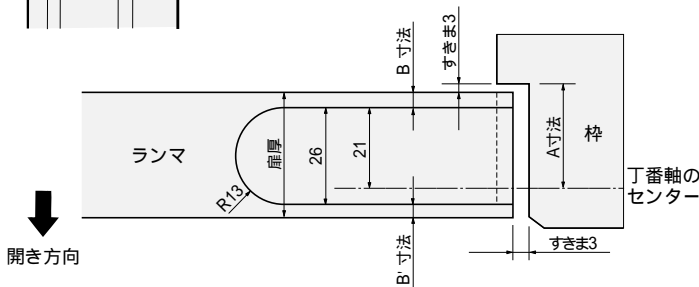
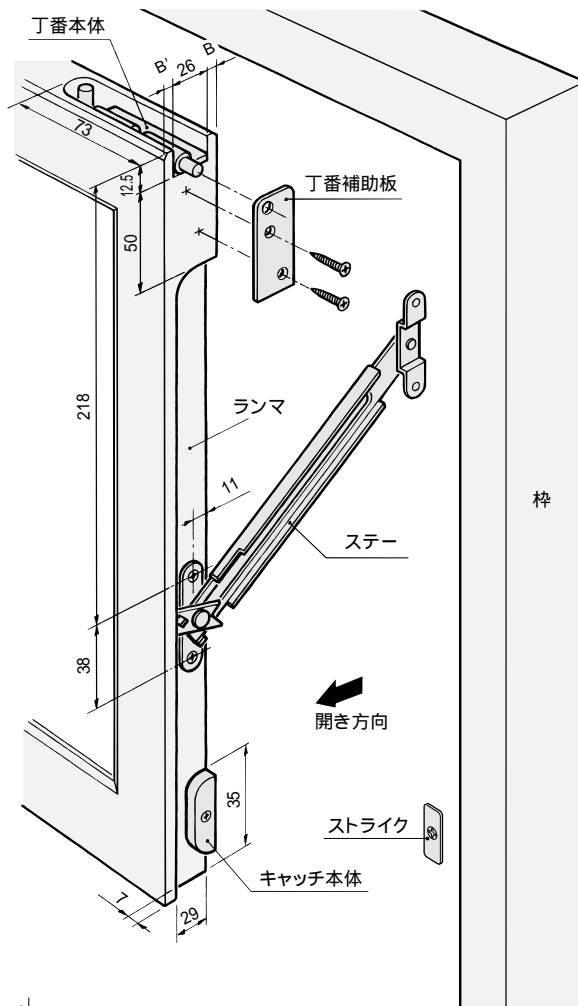
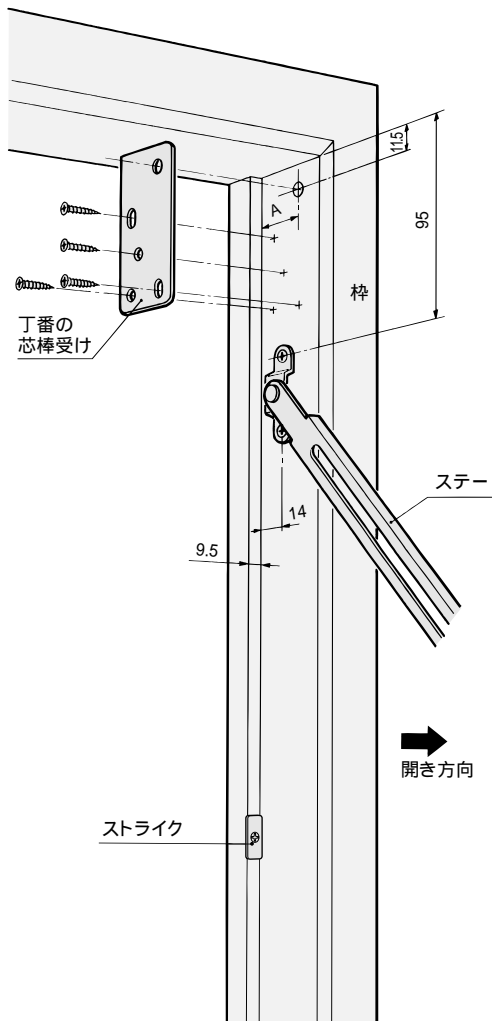
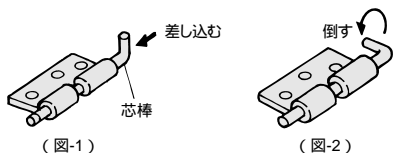


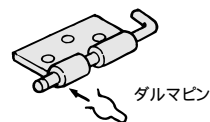
表-1

廊厚	A寸法	B寸法	B'寸法
32	27	3	3
34	28	4	4
36	29	5	5
38	30	6	6

- ① 上図のように丁番の芯棒受け金具を仮止めします。
芯棒受け金具の取付け位置は、上枠に密着させて取付けて下さい。
前後方向は(表-1)のA寸法の位置にします。
芯棒受けの長穴2ヶ所をタッピンねじで仮止めします。
(長穴の下側にタッピンねじを取付けて下さい)
- ② (開き側から向って)ランマ右木口下部にキャッチ本体を取付けます。
- ③ 丁番を所定の位置に取付けます。
- ④ ランマ右木口側に丁番補助板を取付けて下さい。
- ⑤ ランマを枠に入れ、
丁番本体の芯棒を立てたまま(図-1)、芯棒受けの穴に差し込みます。
差し込んだ後、芯棒を倒す(図-2)と丁番がロックされ芯棒受けから抜けなくなります。



- ⑥ 芯棒受けの長穴でランマ上下の隙間具合を調整し、残りの木ねじで本締めます。
- ⑦ (ランマを開く側から見て向って)右側の窓枠にステーを取付けます。
- ⑧ (ランマを開く側から見て向って)右側の窓枠にマグネットキャッチのストライクを取付けます。
- ⑨ 窓枠とランマ側面との隙間が適正となるように、ダルマピンを左右の丁番の芯棒に差し込んで下さい。



ご注意 廊長さ360mm以下で使用する場合は、ステーと同じ側にマグネットキャッチを取付けることはできません。
ステーの取付け位置と反対側の木口にマグネットキャッチを取付けます。

ドア錠

1

丁番

2

開き戸金物

3

引戸錠

4

引戸金物

5

上吊式引戸金具

6

上吊式引戸金具OP

7

折戸金具

8

折戸金具OP

9

取手・引手

10

スライド丁番

11

スライドレールワイヤバスケット

12

収納・吊金具

13

その他の家具金物

14

消火器ボックス

15

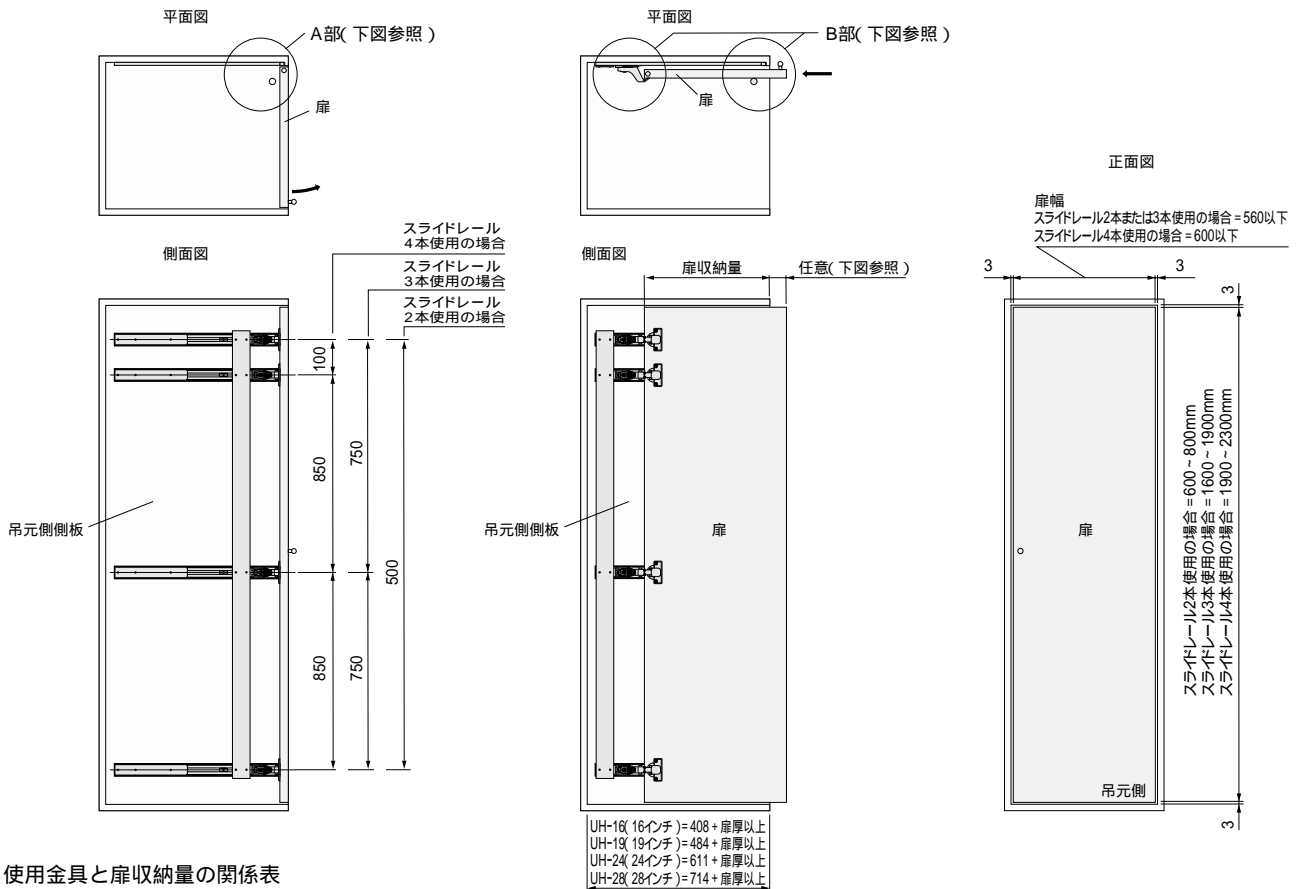
手摺金具

16

諸金具・他

17

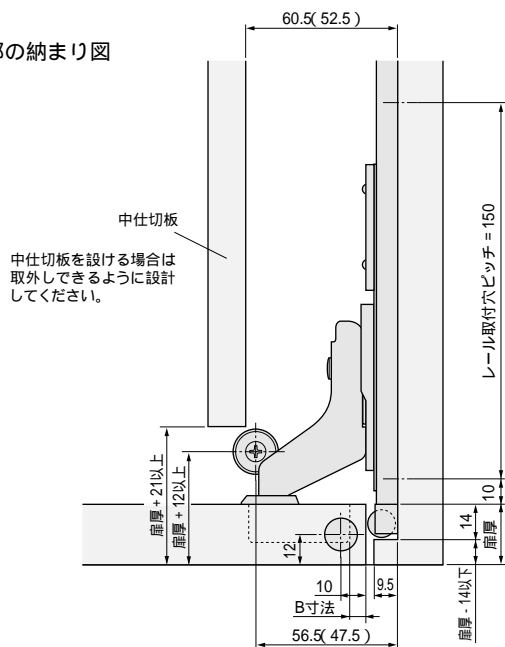
金具の納まり参考図



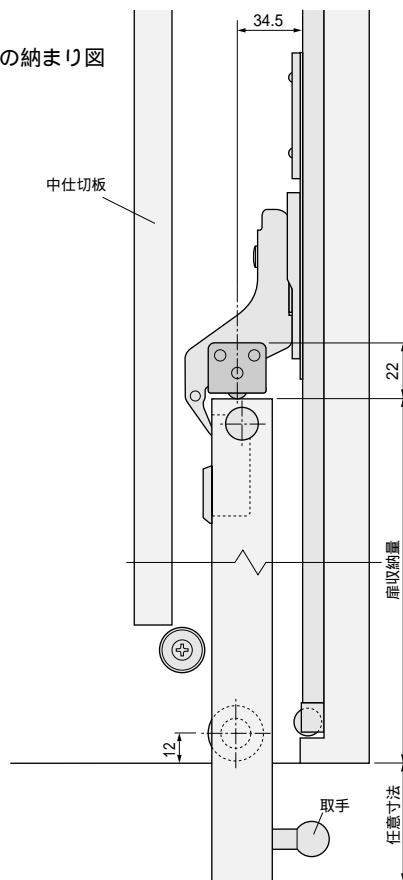
使用金具と扉収納量の関係表

		スライド丁番	
		UHスライド丁番 40カップ	UHスライド丁番 35カップ
スライド レール	UH-16(16インチ)	268 + 扉厚	270 + 扉厚
	UH-19(19インチ)	344 + 扉厚	346 + 扉厚
	UH-24(24インチ)	471 + 扉厚	473 + 扉厚
	UH-28(28インチ)	574 + 扉厚	576 + 扉厚

A部の納まり図



B部の納まり図

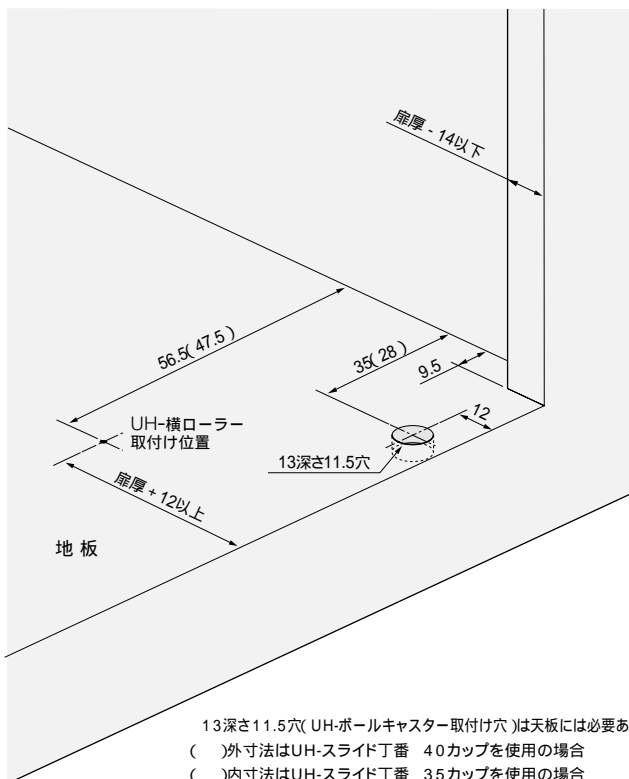


扉を収納する際に、
取手及び手が側板に
当たらない寸法を
任意にしてください。

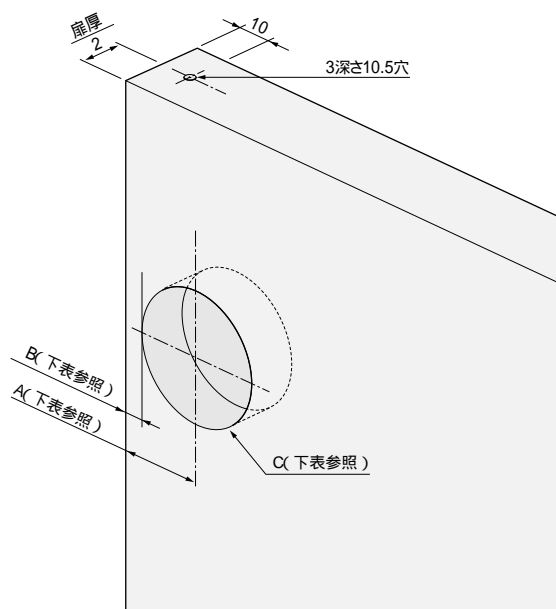
() 外寸法はUH-スライド丁番 UH-NTR105-0-1(40カップ)を使用の場合
() 内寸法はUH-スライド丁番 UH-CR100D-0-1(35カップ)を使用の場合

家具の加工寸法

側板・地板・天板の加工、金具の取付け寸法



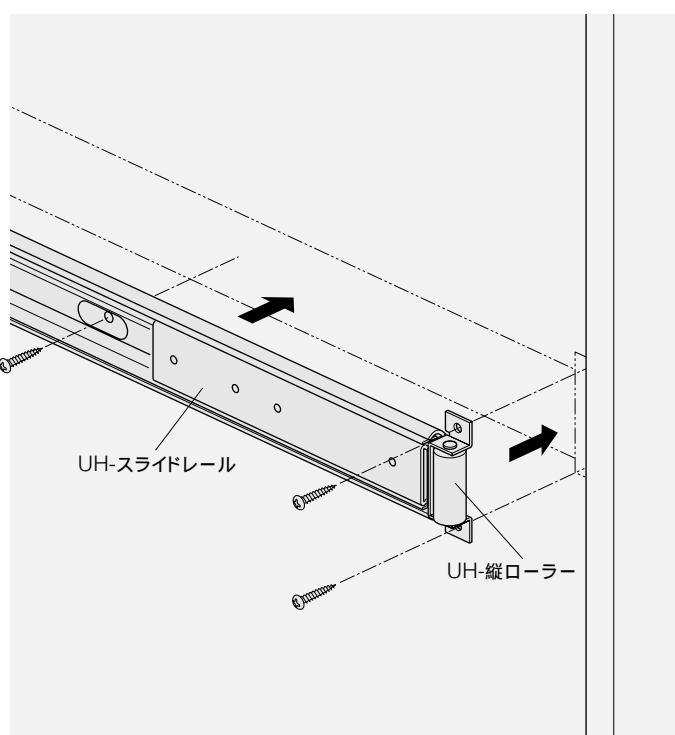
扉の加工、金具の取付け寸法



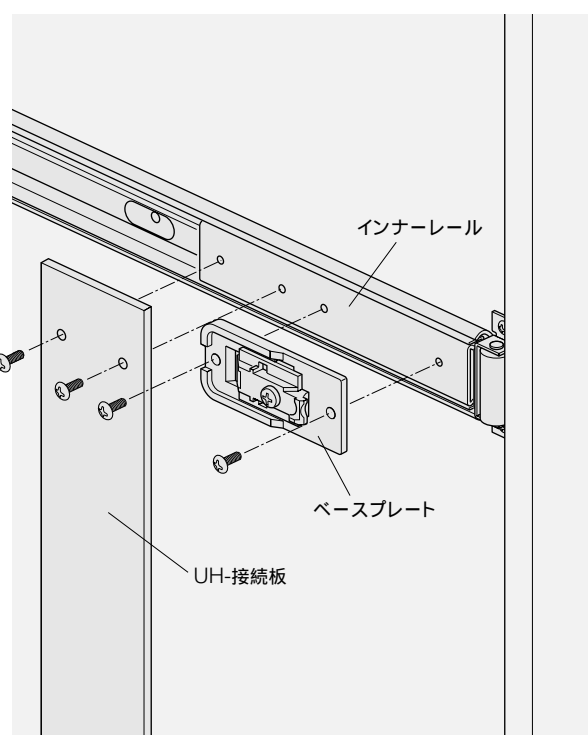
	A	B	C
UH-スライド丁番 40カップの場合	27	7	40深さ15穴
UH-スライド丁番 35カップの場合	20.5	3	35深さ11穴

金具の取付け方法

① 吊り元側の側板に、UH-スライドレール及びUH-縦ローラーを取り付けます。

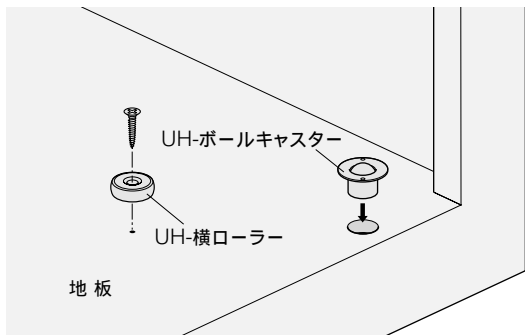


② UH-スライドレールのインナーレールに、UH-スライド丁番のベースプレート及びUH-接続板を取り付けます。

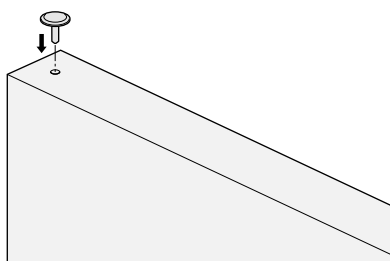


- ドア錠 1
- 丁番 2
- 開き戸金物 3
- 引戸錠 4
- 引戸金物 5
- 上吊式引戸金具 6
- 上吊式引戸金具OP 7
- 折戸金具 8
- 折戸金具OP 9
- 取手・引手 10
- スライド丁番 11
- スライドレール・ワイヤーバスケット 12
- 収納・吊金具 13
- その他の家具金物 14
- 消火器ボックス 15
- 手摺金具 16
- 諸金具・他 17

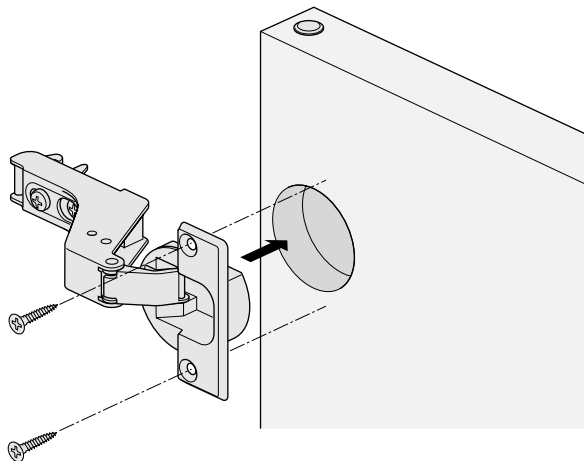
- ③ 天板及び地板に、UH-横ローラーを取り付けます。
- ④ 地板の加工部に、UH-ボールキャスターを取り付けます。



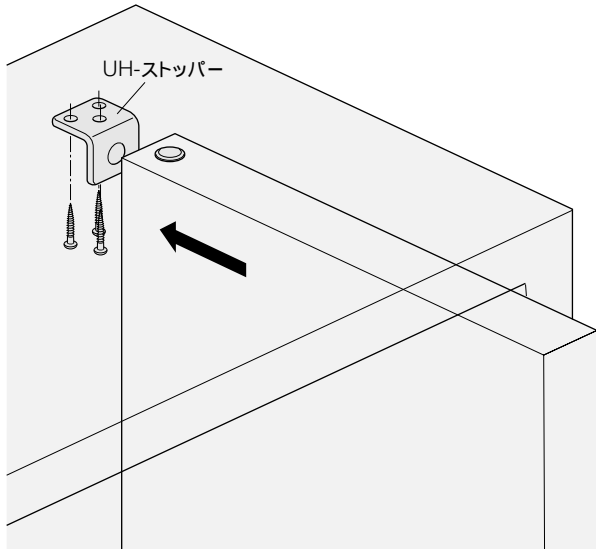
- ⑤ 扉上面の加工部に、UH-すべり紙2号を取り付けます。



- ⑥ 扉裏面の加工部に、UH-スライド丁番の本体を取り付けます。

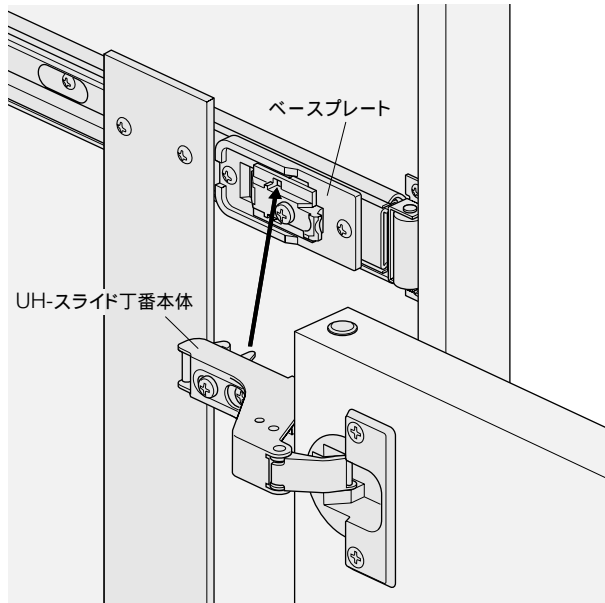


- ⑦ UH-ストッパーを適切な位置に取り付けます。



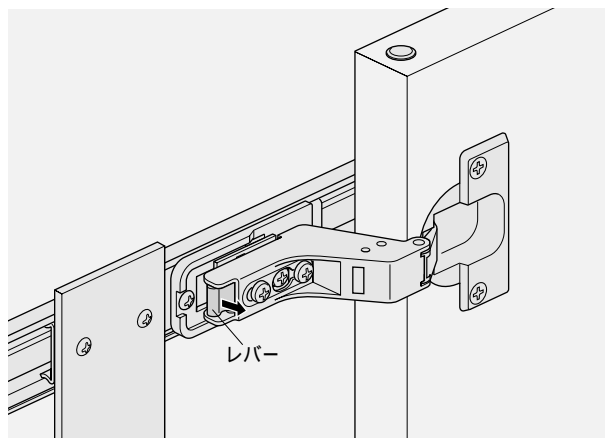
扉の吊込み

(UH-スライドレールに取り付けた)UH-スライド丁番のベースプレートに
(扉に取り付けた)UH-スライド丁番本体を押し込んで嵌合します。



扉の取り外し方法

UH-スライド丁番のレバーを指で手前に引くと、丁番本体とベースプレートとのロックが解除され外れます。
この際、丁番は下から1つずつ取り外してください。



扉の調整

扉の吊込み後に扉が傾いている場合には、UH-スライド丁番に付いている調整ねじをドライバーで回すことにより、上下・前後・左右の位置調整ができます。

